

日本アクチュアリー会 2024年度 資格試験 合格体験記

発行：早稲田大学大学院会計研究科
発行人：清水 孝
〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

会計専門コース 2年

吉山 史城

第2次試験合格
正会員資格取得



試験対策について

会計専門コースの視点から、アクチュアリー2次試験について感じたことをご紹介します。2次試験の出題形式は公認会計士の論文式試験と類似する点が多く、会計士試験の経験者であればスムーズに学習を進めやすかったです。テクニカルな話は別途、野村先生に対策資料をお渡ししたのでそちらに譲りますが、結果的に私自身、会計士試験と同様の学習方法で合格することができました。1次試験では数学や会計・経済・投資理論において会計士試験と重なる部分があり、2次試験においても会計の理解が重要となることから、会計士試験経験者で数理分野に関心のある方には、キャリアの幅を広げる上でアクチュアリー資格が有力な選択肢になり得ると感じました。一方、会計士試験にはあまり見られない形式として実務的素養の問われる所見問題があります。この点、会計研究科には業界の第一線で活躍する実務家の先生方による講義が充実しており、実務経験の乏しい私にとっては、教科書だけでは得られない実務的な視点に触れる貴重な機会となりました。講義後の質問にも丁寧に対応していただき、大変感謝しております。また受験生同士で定期的に勉強会を開催し、議論を深める中で新たな視点を得ることができ、こうした会計研究科の恵まれた環境が2次試験合格につながったと考えています。

後輩へのメッセージ

無事に正会員となることができましたが、実務を行う上での知識や経験はまだ不足しており、今後も研鑽を積み、日々の業務に邁進していく所存です。一方、会計研究科や試験を通じて身に付けた専門知識や問題解決の経験は日々の業務に取り組む上での拠り所や自信の根拠となり、それは単に資格を取得したという以上に、大きな価値があるもののように感じられます。アクチュアリーを目指す方には、ぜひ本研究科での学びをご検討いただければ幸いです。



アクチュアリー
専門コース 1年
川邊 晏嗣

基礎科目全5科目合格
準会員資格取得



試験対策について

私は学部3年次に「数学」「会計・経済・投資理論」、学部4年次に「生保数理」「損保数理」、修士1年次に「年金数理」に合格し、準会員となりました。学部時代に独学していた経験を踏まえて、会計研で試験対策をする良さを3つご紹介いたします。1つ目は、充実した試験対策カリキュラムです。実務家アクチュアリーが教鞭を執ってください、春学期には講義形式、秋学期には演習形式の授業が行われます。基礎から応用までを丁寧に教えていただいたことで、年金数理の勘所を掴むことができました。また、先生に質問ができる環境も自身の理解の助けになりました。独学の頃は、わからないことは自身で解決するしかなく、疑問が解消しないまま試験日を迎えたこともありました。会計研に入った今年度は、どのような質問でも的確に回答くださる先生方が身近にいらっしゃったため、疑問点が一切無い状態で試験に臨むことができました。2つ目は、同期や先輩方の存在です。独学時は周りに受験仲間がいない状態で勉強をしていましたが、会計研では同期と先輩方全員で同じ試験に挑みます。そのため、同じ科目を受ける友人と疑問や悩みを共有できたり、先輩からわかりやすい自作の資料を頂けたりと助けられる場面が多かったです。3つ目は大学院生専用の地下自習室があることです。勉強のモチベーションが低い日は必ず利用していました。洗練された真っ白な自習室は、無駄な思考に悩まされることがないので勉強する上で最適な環境です。そして、そこに行けば必ず誰かが一生懸命に勉強しています。「あの人が頑張っているなら私も頑張ろう。」と感化されたことは少なくありません。

後輩へのメッセージ

上記の説明で、会計研が資格予備校のように思われた方がいらっしゃるかもしれませんが、そのようなことは全くございません。会計研は「アクチュアリー+1」のコンセプトを真に体現しており、資格試験以外の学びに励みたいと思えばそれが叶う環境です。実際に私は、授業で扱ったことについてさらに詳しく知りたいと先生にお伝えしたところ、実務家の方が多く集まる研究会に参加させていただくことができました。また同期も、データサイエンスや会計等に強みを持とうと授業や研究室での学びに励んでいます。アクチュアリーとして付加価値をつけたいと考えている方には最適な大学院と言えるでしょう。

学び以外の面でも会計研から得られる恩恵は大きいです。OB・OG含め実務家の方との会食で有意義なお話を伺うことができたり、先輩方から就職活動についてのアドバイスを頂くことができたりと様々です。アクチュアリーになりたいという方には会計研へのご入学を強くお勧めいたします。



アクチュアリー
専門コース1年
向坂 力為

基礎科目全5科目合格
準会員資格取得



試験対策について

私は学部3年次に「数学」「KKT」、学部4年次に「生保数理」「損保数理」、そして今年度に「年金数理」に合格し、アクチュアリー準会員となりました。特に、年金数理は他の科目に比べて実務寄りの内容が多いため、振り返ると会計研究科に所属していたことが試験対策に大きく役立ったと感じています。

会計研究科における試験対策の恩恵として、特に以下の2点が挙げられます。

1点目は、効率的な試験対策が可能な講義がある点です。会計研究科では、試験対策に重点を置いた講義が充実しており、独学に比べて格段に効率よく学習を進めることができました。講義を担当される先生方は、アクチュアリーとして実際に保険会社などで活躍されている方々であり、実務に関する貴重なお話を交えながら講義をしてくださいました。そのため、試験内容の本質的な理解が深まり、初見の問題にも対応できる応用力を養うきっかけとなりました。

2点目は充実した自主勉強会が開催される点です。会計研究科では、同期・先輩・後輩と共に自主勉強会を定期的に開催していました。科目ごとに勉強会を開き、参加者全員で不明点を共有しながら学習を進めることができました。具体的には、事前に過去問などを解き、理解が難しかった部分や各自の解法を持ち寄って共有し、お互いに教え合う場として活用されていました。また、試験直前には、本番の出題予想を全員で話し合い、この勉強会のおかげで万全の準備を整えることができました。

入学を検討中の方へのメッセージ

会計研究科といえば、アクチュアリー試験対策が充実している点に魅力を持たれる方が多いかもしれませんが、私自身が特に魅力を感じたのは、それ以外の点にあります。特に次の3つの点が、会計研究科の大きな魅力だと感じています。1つ目は充実したカリキュラムと多様な学びの機会がある点です。会計研究科では、アクチュアリー試験対策に限らず、幅広い科目を学ぶことができます。例えば、実務経験豊富なアクチュアリーの方々が講義や講演会を担当され、実務的な視点に基づいた最新の知見を学べる機会があります。さらに、アクチュアリー関連の科目に限らず、データサイエンス・数理統計・会計といった分野も幅広く学べる点も魅力的です。2つ目は同じ志を持つ仲間との出会いがある点です。ここでは、アクチュアリーを目指す仲間と共に学ぶことができます。自主勉強会を通じて互いに刺激を受けながら試験対策に励めることはもちろんですが、日々の学びの中で同じ目標に向かう仲間がいること自体が、大きなモチベーションにつながります。実際、私自身もここで出会った仲間たちと共に過ごすことで、就職活動に対する不安の解消や、アクチュアリー試験のモチベーションを維持することができました。そして、こうした仲間たちは、今後も長く関わり続ける大切な存在だと確信しています。3つ目はアクチュアリーに関する研究ができる環境がある点です。アクチュアリーに精通した教授が多く在籍しており、その指導のもとでアクチュアリーに関する研究を行うことが可能です。こうした研究機会を得られる環境は、会計研究科の大きな魅力だと感じています。私自身、これらの恩恵を受けたことで、アクチュアリーとして一步成長できたと実感しています。アクチュアリーを目指す方にとって、会計研究科は非常に魅力的な環境であると自信を持ってお勧めします。